

心かがやけ月間 子供たちの成長 part2

前回の「もっとわくわく通信137号」の続きで、心かがやけ月間に保護者の方々から、お子さんの成長についてアンケートで教えていただいたものを紹介します。今回は、4～6年生の分を紹介します。丸数字は学年を表します。例)⑥:6年生

こんなところが成長しました(一部抜粋及び略在り)	
正しいことを自信をもって	④学級内で周りの友達のことをよく見ていて、よくない言動などを見かけると、同調せずに先生に話したり注意しようとしたり、自分が考える正しい言動を取ろうとしているのだなと感じます。
生活を送つめ直し、朝寝・朝顔を	⑥学習への意欲と計画性が伸びたと感じます。算数の比を教わり、得意になったことで、宿題などでも以前より自ら進んで取り組んでいます。また、早めに取り掛かるなど、時間にゆとりをもって生活するようになり、計画的に行動する面でも自立してきたと思います。
相手を思いやって親切に	④友達の気持ちを考えて思いやったり、どうしたら皆で一緒に楽しく過ごせるかを大切にしたりしているようです。自分の事だけではなく、周りの事も考えて行動できるようになりました。
周りの人への感謝	④登校時に立ってくださる交通指導の方や子供会などで地域行事のお世話をしてくださる方々を見て、「地域の方がしてくださったね。ありがたいよね。」とふとした時に自然と言っているのを聞いて、学校生活は自分たちだけではなく、地域の方々の協力や見守りで成り立っていることへの感謝の心を持てるようになってきていることに成長を感じました。
相手の立場にたって親切に	⑤休みの日、運動場に遊びに行き、しばらく友達と遊んでいたようですが、自ら「皆さん、鬼ごっこしませんか？学年は関係ありません。」と呼び掛けてみんなで遊べたそうです。
広い心でわかり合う	⑥友達の気持ちを考えて行動できるようになりました。自分の気持ちや考えをなるべく言葉にすることで、他人とわかり合おうとすることがあり、成長を感じています。
相手の立場にたって親切に	⑥子供会活動で下級生に優しく接し、行事の際、みんなをまとめる姿を目にします。以前は消極的だった廃品回収などの活動も率先してやるようになりました。5年生の子供たちが「委員長、委員長」と慕ってくれるのを見て、学校でも最上級生として頑張っているのだと思います。
進んでみんなのために働く	④張り切って、朝のボランティア活動に行くようになりました。友達に楽しんで(喜んで)もらおうとクラスの集会の準備を一生懸命考えて準備をしていた姿を見て、成長を感じました。
楽しい家庭をつくる	④家族のため、友達のために楽しいイベントなど計画してくれて、みんなをいつも笑顔にしてくれます。周りをよく観察しながら考えて行動することもできるので、優しい言葉もかけてくれます。
役割を自覚し、よりよい学校や学校をつくる	⑤先日の音楽会で、難しい合奏の練習を頑張ってきた成果を感じました。本人の目標は、間違えないことよりも「楽しむ」「リズムを感じる」ことだと言っていました。本番では、リズムにノリノリで楽しんでいる姿に皆で合奏を作り上げている心が感じられ、とても感動しました。
役割を自覚し、よりよい学校や学校をつくる	⑤委員会活動の曜日には必ず参加して役に立ちたいと思うようで、休まず活動の時間までには登校を心掛け、仲間と助け合いながら仕事を見つけ、少しでも役に立ちたいと考えて行動している姿や考えを家庭でも話してくれます。
働く喜びをみんなのために感じる	⑥朝のボランティア活動にとても意欲的に取り組んでいるようです。毎朝、6時半頃にアラームをかけて、てきぱき行く用意をして、7時半前には元気に登校しています。学校のみなの役に立つことを進んでできるようになってくれて、6年生らしく成長したなと嬉しく思っています。
国や郷土を愛する	⑥委員会での仕事(役割)のために、苦手な早起きをして、インタビューのセリフを考え、練習に励んでいました。学校行事、地域のイベント等に参加し、お手伝いなどで協力してくれました。
かけがえのない生命	⑤今年、愛犬を亡くし、命の大切さを知ったのかと思いました。本人からは言葉には出ませんが、以前に比べてまだ居る愛犬に対してのお世話をするようになりました。
自然環境を大切に	⑤夏休み前に学校からメダカの稚魚をもらってきました。夏休みの自由研究の題材にし、一生懸命観察し、お世話をしています。生き物の命を大切にしている姿が見られます。

ご家庭でも、この冬休み中に、お子さんの行動を「心のパズル」で価値付けて、成長の実感を味わわせてみてはいかがでしょうか？